

原水爆禁止2014年世界大会にご参加の皆様をはじめ、関係者の皆様の平和に向けた活動に心から敬意を表します。

武蔵野市では、武蔵野に初の空襲があった11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定するなど、戦争の記憶を次世代に引き継ぎ、平和の尊さを発信する取り組みを進めています。本年は、市民実行委員会とともに、写真パネル展の開催や「武蔵野市平和・憲法手帳」の作成に取り組んでいます。また、武蔵野市長として「脱原発をめざす首長会議」に参加し、本市においてはエネルギー使用量の見える化による省エネや創エネの促進など、自治体レベルでできることから実行しています。

世界で唯一の被爆国の自治体として、今後とも、核兵器廃絶、世界の恒久平和の実現を機会あるごとに訴え続けてまいります。

2014年8月

武蔵野市長 邑上 守正